九州運輸局メールマガジン　平成 30 年 3 月 15 日　第 379 号
～運輸と観光で九州の元気を創ります～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。
九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日（祝・祭日の場合は翌日）にお届けしています。
次回の定期発行日は平成 30 年 3 月 29 日（木）です。

■ 目 次

１　現場リポート
◆長洲港で船舶事故・船舶火災合同訓練を実施しました～地域関係機関の緊急連絡体制の構築及び連携を深めるために～
◆平成 29 年度第 2 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰を行いました～自動車運送事業者 14 社へ表彰状を授与～
◆ＪＲ貨物 福岡貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました～モーダルシフトの推進に向けて～
◆鹿屋市において観光動向調査報告会を開催しました～鹿児島県大隅地域を中心とした南九州におけるサイクルツーリズムによる周遊促進に向けて～
◆「地域公共交通活性化セミナー2018in 福岡」を開催しました～地域一体となった公共交通活性化に向けて～
◆細島港で練習帆船「海王丸」の見学会を開催しました～日向市立日知屋小学校の生徒 36 人が乗船体験～

２　お知らせ
◆平成 30 年 5 月から、タカタ製エアバッグのリコール未改修の場合、車検が通らなくなります！
◆国土交通月例経済（平成 30 年 2 月号）
◆船舶は大規模災害時の支援活動に貢献しています

３　九州運輸局ホームページアップ情報
◆報道発表
◆お知らせ
◆更新情報

――― １　現場リポート ―――

◆長洲港で船舶事故・船舶火災合同訓練を実施しました
～地域関係機関の緊急連絡体制の構築及び連携を深めるために～

◎有明フェリー（有明海自動車航送船組合）、三池海上保安部、有明広域行政事務組合消防本部は、地域の関係機関と連携し、3 月 4 日（日）熊本県玉名郡長洲町の長洲港において、約 130 人が参加して船舶事故・船舶火災対策合同訓練が実施されました。九州運輸局からも海上安全環境部、長崎運輸支局、熊本運輸支局の運航労務監理官 5 人が参加しました。

◇内容
・訓練は、多比良港から長洲港へ向かうフェリー「サンライズ」が、長洲港まで 1 マイルの付近で漁船と衝突、フェリーで負傷者多数・船舶火災発生、漁船の乗組員

が海中転落したとの想定で、関係機関が連携して救助と消火活動を行うというものです。
・救助訓練では、重傷者と見立てたフェリー乗客の人形を海上保安部のヘリが引き上げて医療機関に搬送。漁船から海中に転落した乗組員は、巡視艇と水上バイクが連携して救助を行いました。
・事故現場付近で停止したフェリーの船上では、乗組員が車両甲板で発生した火災の初期消火にあたるとともに乗客を安全な区画への誘導を行ったほか、入港したフェリーに消防機関による陸上からの消火活動と負傷したフェリー乗客の救急車搬送が行われました。

◇参加機関
有明フェリー（有明海自動車航送船組合）、三池海上保安部、有明広域行政事務組合消防本部、荒尾警察署、長洲交番、長洲町、長洲町消防団、熊本県北部漁協、日本水難救済会長洲支部、シーバード肥後ながす、九州運輸局、長崎運輸支局、熊本運輸支局

◇九州運輸局からのメッセージ
・航行中のフェリーで船舶火災が発生した場合、陸上からの支援はほぼ受けることができません。また、今回の想定のように陸上に近い海上で船舶事故・船舶火災が発生し、陸上の支援が受けることができたとしても船舶の特殊な構造などにより救助・消火が思うようにいかない可能性もあります。
・今回の訓練に参加して、関係機関が訓練を重ねるごとに連携を深め、プロ意識をもって役割を発揮することで、多くの人命救助に寄与できると認識させられました。
・今後も、地域関係機関の連携を深めるために合同訓練に積極的に参加し、関係事業者の取組みを指導・促進してまいります。
（海上安全環境部、長崎運輸支局（本庁舎）、熊本運輸支局（三角庁舎））

◇訓練の様子は、こちらの九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_1.pdf

---

◆平成 29 年度第 2 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰を行いました～自動車運送事業者 14 社へ表彰状を授与～

◎九州運輸局では、「平成 29 年度第 2 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰」を平成 30 年 2 月 28 日付けで実施。輸送の安全確保に関する実績が顕著であった自動車運送事業者 14 社に対し各支局において無事故表彰伝達式を開催し、表彰状を授与しました。

◇概要
九州運輸局では、自動車運送事業者が所定の期間中にその責任に属する自動車事故がなく、かつ、運輸業務の成績が優良である事業者に対して年に 2 回（8 月と 2 月）自動車運送事業者の無事故に関する九州運輸局長表彰を実施しております。「平成 29 年度第 2 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰」では、福岡、長崎、熊本、大分、鹿児島の 5 支局の管内から以下のバス、トラック事業者（14 社）が受賞の対象となり表彰を行いました。

◇内容（無事故表彰者）

［福岡］
（バス）イトウ建機リース株式会社、さくら交通株式会社
（トラック）宮田運送株式会社、福岡熊交株式会社、株式会社ベストワーク運輸
［長崎］
（バス）有限会社松浦観光
（トラック）サンライト物流株式会社
［熊本］
（トラック）株式会社熊本総合運輸、鹿央運輸有限会社、有限会社青井運送
［大分］
（バス）臼津交通株式会社
（トラック）株式会社セイワ
［鹿児島］
（トラック）株式会社タチワキ、有限会社小野興産

◇九州運輸局からのメッセージ
・平素より関係者全員が一致協力して事故防止に努力されてきた受賞者の皆様に心より感謝いたします。今後も、他の模範となり事故防止に一層努められることを期待しています。
・九州運輸局でも、表彰によるインセンティブ制度等を通して今後も事故防止を推進し自動車運送事業者の輸送の安全の確立に努めてまいります。
・また、国や関係事業者団体では、「安全確保・環境保全」に対する意識を高めるために、安全面や環境面で優良な事業者等を認定・認証する制度等を実施しています。九州運輸局では、これらの制度等の意義を高く評価しており、優良運輸事業者等を選択・利用することで「公的機関が認めた安全・安心」なサービスの提供が期待できることから、優良運輸事業者の積極的活用を促進しています。

◇伝達式の様子は、こちらの九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーはからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_2.pdf
◇『優良運輸事業者の積極的活用について』はこちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/yuryo.html

◆ＪＲ貨物 福岡貨物ターミナル駅で鉄道コンテナ施設等見学会を開催しました
～モーダルシフトの推進に向けて～

◎九州運輸局では、2 月 23 日（金）、日本貨物鉄道株式会社九州支社との共催並びに公益社団法人鉄道貨物協会、九州地方通運業連盟の協賛により、日本貨物鉄道株式会社福岡貨物ターミナル駅（福岡市東区）において、平成 29 年度第 4 回「鉄道コンテナ施設等見学会」を開催しました。

◇内容
・施設見学会には、荷主やトラック事業者、利用運送事業者、倉庫業者等の担当者 28 名が参加。
・現地見学に先立ち、貨物鉄道輸送を利用することによる企業における環境への取組や事業経営におけるメリット、モーダルシフト推進に関する施策や鉄道コンテナ輸送の概要、鉄道貨物を一定の割合以上利用する場合のエコレールマーク認定制度など、関係企業が連携して取り組むモーダルシフトの方策等の説明を行いました。

・現地見学では、12 フィートドライコンテナ（側面・妻面開き、通風）や保冷コンテナ、31 フィートウイングコンテナ等各種鉄道コンテナの構造に関する説明、また、トップリフターを使用し実演を交えて荷役方法や輸送の安全性等の説明が行われました。
・意見交換の時間では、参加者から駅構内での保冷コンテナ一時保管時の電源確保について要望が寄せられる等、大変有意義なものとなりました。

◇九州運輸局からのメッセージ
・モーダルシフト政策を推進している国土交通省では、その中でもＣＯ２排出量の少ない鉄道コンテナを有益なツールとしてその利用を推奨しており、そうした取組の一環として九州運輸局ではＪＲ貨物との連携により見学会を開催しています。
・また、平成 28 年 10 月に施行された改正物流総合効率化法に基づき、物資の流通に伴う環境負荷の低減及び流通業務の効率化、省力化にかかる取組を支援しており、モーダルシフト等の取組に関する補助制度等もご用意しております。
・今後も、モーダルシフトの推進はもとより、物流事業者の方々にとってビジネスチャンスとなるよう施設見学会等様々な取組を行ってまいります。
（交通政策部　環境・物流課）

◇鉄道コンテナ施設等見学会の模様は、こちらの九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_3.pdf

---

◆鹿屋市において観光動向調査報告会を開催しました
～鹿児島県大隅地域を中心とした南九州におけるサイクルツーリズムによる周遊促進に向けて～

◎九州運輸局は、2 月 22 日（木）鹿屋市において、今年度実施した観光動向調査事業に関する報告会を日本版ＤＭＯ候補法人「おおすみ観光未来会議」と連携して開催しました。
（観光部 観光地域振興課）

◇報告会の内容等詳細は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_4.pdf

---

◆「地域公共交通活性化セミナー2018in 福岡」を開催しました
～地域一体となった公共交通活性化に向けて～

◎九州運輸局では 2 月 20 日（火）に、福岡合同庁舎新館（福岡市博多区）にて、自治体や交通事業者ら 101 人を対象に、基調講演のほか、新たな取り組みとして全員参加型でのグループディスカッションを実施し、公共交通活性化の取り組みの足掛かりを作る機会として「地域公共交通活性化セミナー2018in 福岡」を開催しました。

◇内容
＜基調講演＞
・薩摩川内市地域公共交通の現状と取り組み（薩摩川内市役所 交通貿易課 主任・地域交通グループ員 佐潟洋一郎 氏）

・熊本県内における公共交通活性化の取り組み『交通事業者としての行政との関わりについて』（産交バス株式会社 天草営業部 天草営業所長 中村 晋 氏）
・地域寄生（株式会社光タクシー 代表取締役社長 石橋 孝三 氏）
＜グループディスカッション＞
・総括（大分大学 経済学部 准教授 大井 尚司 氏）

◇九州運輸局からのメッセージ
・国土交通省では、地域公共交通の活性化・再生について、急激な人口減少や少子高齢化に対応する考え方である「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、改正地域公共交通活性化再生法と改正都市再生特別措置法を活用し、関係者が一体となった取組を推進しています。
・今回のセミナーにおいては、行政・事業者それぞれの視点から地域一体となって公共交通活性化を推進するための事例紹介がありました。
・また、今回は新たな取り組みとして、事前アンケートを参加者に対して実施し、回答結果に基づき、班ごとに異なるテーマでのグループディスカッションを実施しました。自治体・事業者・コンサルタントなど、立場が異なる主体による活発な意見交換により、公共交通活性化に向けた課題、成功例、アイデアの共有、交通担当者の人脈形成が図られました。
・持続的な公共交通網を構築するためには地域の各主体が時間をかけながら継続して対話を行うことが重要です。今回のセミナーは、地域が一体となって繋がり、学び、創ること、そして、これを継続することが必要であると改めて認識する機会となりました。各地域においても関係者が一丸となって地域公共交通について考えることにより、公共交通活性化の更なる一歩を踏み出して頂ければと思います。
・九州運輸局としましても地域の関係者の皆様としっかりと連携し、また、優良事例をご紹介するなど、次なるアクションに踏み出すための情報提供やセミナーの開催を通じて取り組み意識の向上を図り、地域公共交通の活性化を推進してまいります。
（交通政策部 交通企画課）

◇当日の配付資料、会場の模様は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00048.html

◆細島港で練習帆船「海王丸」の見学会を開催しました
～日向市立日知屋小学校の生徒 36 人が乗船体験～

◎宮崎運輸支局では、1 月 19 日（金）、独立行政法人海技教育機構の練習帆船「海王丸」が細島港に入港した機会をとらえ、日向市立日知屋小学校の生徒に対する同船の見学会を実施しました。

◇内容
・見学会には、日向市立日知屋小学校の 6 年生 36 人と引率教師 3 人が参加。
・若年船員が不足している海運業で、船員への就職志望者を増やす就業支援の一環として、実際に船内施設を見学し船の魅力や海の仕事の大切さを見て、聞いて、触って感じてもらい、船員の仕事を将来の職業選択の一つにしてもらうことを目的に開催。
・船内では、デッキ上、船橋、無線室、海面からの高さが 50m に及ぶマスト等を見学。

◇九州運輸局からのメッセージ
・当日の模様は、地元テレビ局及び新聞社から取材があり、ニュースで放送されたため、今回の取り組みを宮崎県民の皆さまに広く PR することができました。
・生徒たちは、海王丸乗組員の説明に熱心に耳を傾け、質問コーナーでは予定時間を超過するほど沢山の質問を行いました。
・見学を終え、子供達から「大人になったら是非、海王丸の船員になりたい。」「海に関係する仕事もいいかもしれないと思いました。」「安全のために航海士や機関士の方々は、責任を持って仕事をしていてすごいなと思いました。」等の感想があり、本見学会の開催意義を感じることができました。
・今後も、練習船等の入港の機会をとらえ、見学会等を実施し、海の仕事に興味を持ってもらえる機会を増やしてまいります。
（宮崎運輸支局）

◇見学会の様子は、こちらの九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_5.pdf

――― ２　お知らせ ―――

◆平成 30 年 5 月から、タカタ製エアバッグのリコール未改修の場合、車検が通らなくなります！

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/content/000030778.pdf

◆国土交通月例経済（平成 30 年 2 月号）

◇詳細は、こちらの URL からご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/report/press/joho03_hh_000067.html

◆船舶は大規模災害時の支援活動に貢献しています

◇詳細は、こちらからご覧ください。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_6.pdf

――― ３　九州運輸局ホームページアップ情報 ―――

--- ◆報道発表 ---

◇（H30.3.12）九州への外国人入国者数の推移について～2017 年 12 月（確定値）、2017 年年計、及び 2018 年 1 月（速報値）～
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00052.html

--- ◆お知らせ ---

◇（H30.3.9）引越時期の分散に向けたお願い
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/00001_00051.html

--- ◆更新情報 ---

＜統計情報のみ掲載いたします。その他更新情報は下記 URL からご覧ください＞
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN

/////// 編集部だより //
まだまだ朝晩は冷え込むものの昼間は暖かい日が多くなり、春を飛び越え一気に夏日（最高気温が 25 度以上の日）になりそうな勢いの陽気で、これだけ気温差が激しいと体調管理と身にまとう衣類の選択が難しい今日この頃。各地で卒業式のシーズンになりました。福岡市では、数年前から卒業式の日に、市内中学校の卒業生たちが夜な夜な特攻服などの服装で博多駅や警固公園に集まり、大騒ぎして周りに迷惑をかける行為が起きていて、9 日の卒業式前には新聞やテレビニュースなどでも迷惑行為はやめるよう呼び掛けられ、幸い、今年はその集まりはなかったようです。彼らは何を思って特攻服を身にまとうのか？彼らなりに何か意義があったのか？徳洪福（立派な行いで溢れ広がる幸い）な福相で、これからの人生をおくってもらいたいものです。
◎季節の写真
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_379_7.pdf

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
//

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm
■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html
■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）
Mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp
Tel : 092-472-2312　Fax : 092-471-7192